



日本共産党

前豊島区議会議員

2021年9月号

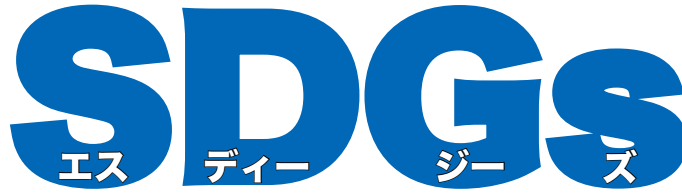
森とおる NEWS

森とおる
事務所発行

東京都豊島区上池袋3-46-2
東京都豊島区南大塚1-19-3

自宅 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-6-12 TEL 03(6912)0135

答えは、私たちが決めた
「持続可能な開発目標」



ってなに？

SDGs とは

SDGs(Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない」という人権の大原則のもと、2015年の国連サミットにおいて、193全ての加盟国が合意した持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。達成期限は2030年としてすすめられています。

MDGs から SDGs へ

前身のMDGs(Millennium Development Goals : ミレニアム開発目標)は、2000年に国連ミレニアム・サミットで採択され、2015年までに達成すべき目標でした。開発途上国の人びとが直面していた多くの問題を解決する原動力となったが、依然として様々な問題や格差が存在することから、浮き彫りになった課題を加えたSDGsに発展しました。

SDGs の理念

SDGsの理念は「誰一人取り残さない(No one will be left behind)」という世界すべての人に共通する普遍性が特徴です。今のままでは地球規模での豊かな環境、社会を維持できないという危機感から生まれました。世界全体で拡大する貧困や格差、気候変動や生物多様性の喪失などの変革に取り組んで未来のあるべき姿にふみだす革新的な行動です。

SDGs の構成

SDGsは17のゴール(目標)と、それらのゴールを達成するための具体的な169のターゲット(標的)に加え、さらにその下に232のインジケーター(指標)があります。17のゴールには「5つのP」という枠組みが設定されています。ゴール1~6は「人間(People)」。ゴール7~11は「繁栄(Prosperity)」。ゴール12~15は「地球(Planet)」。ゴール16は「平和(Peace)」。ゴール17は「パートナーシップ(Partnership)」。目標達成には各目標が相互に関連しているため切り離せません。(17のゴールは裏面に掲載)

SDGs と新型コロナウイルス感染症

新型コロナによるパンデミックが世界を襲い、貧困の蔓延、医療制度の崩壊、教育機会も失われると同時にSDGs実現が危ぶまれています。

新型コロナは動物からの感染による「人獣共通感染症」とされています。これは生物多様性の喪失により、人間と動物の関係や接触のあり方が変わり、人間が動物由来の病原体に接触する機会が多くなったことがその要因です。

複数のワクチンが急ピッチで開発され、富裕国に限られたワクチンを奪い合う事態になっています。これは技術を独占し莫大な利益をあげる巨大製薬会社にも問題があります。本来、世界全体で共有されるべきものです。

コロナ禍でも世界の人びとが協力しあいながらSDGsをすすめることが感染症の脅威に対抗できる有効な手段です。

日本政府のSDGsの動き

国内では2016年に安倍総理が本部長になり、すべての国務大臣がメンバーになり推進本部が発足。後にSDGs未来都市、自治体SDGsモデル事業を設定し、全国の自治体に広げて23区では豊島区、江戸川区、墨田区を選定しました。

ドイツのベルテルスマン財団と持続可能な開発ソリューション・ネットワークは毎年6月頃に各国の達成状況を発表しています。その2020年版によれば日本のSDGsに対する評価は、2017年の11位から17位に下がっています。その要因としてジェンダー平等に対する厳しい評価は当然です。また石炭火力発電を推進してきたことが気候変動の評価を下げています。しかも貧困と格差を解消する目標がまったくなく、代わりとしては「デジタル戦略」と「スーパーシティ構想」の名で、デジタル技術を利用し、医療、教育、自動運転などの交通サービスを一体的に提供できる未来都市をつくらうという計画があります。これらには個人情報が一元管理されることによるプライバシーの侵害や住民監視の危険性などが指摘されています。政府がSDGsのマークを使って進めていることに多くの人が疑問を持っています。